

平成20年度学生表彰について

区分	団 体				
被表彰者	課外活動団体 自動車研究部	課外活動団体 国際交流クラブ	課外活動団体 硬式テニス部	課外活動団体 バレーボール部	課外活動団体 ロボコン同好会
表彰理由	<p>上記の団体は、2008年9月に開催された第6回全日本学生フォーミュラ大会において、日本初となるカーボンファイバーボディを採用した車両で参戦し、車両のコンセプト・設計力が高く評価され、国土交通大臣賞、New Thinking賞、エニゲザイン特別賞1位、デザイン賞3位など多くの受賞をし、本学学生のポテンシャルの高さを示した。この活躍に加え、2008年12月にコッポラにて車両展示を行うなど対外活動も積極的に行い、また、新聞や雑誌に何度か取り上げられるなど、本学のプレゼンスを向上させた。</p>	<p>上記の団体は、留学生およびその家族のための「家族になるうよ会」の活動、留学生支援のための家具・家電のリサイクル、留学生対象企業見学、サマースクール、また、地域社会の外国籍児童のためのアフタースクールでの活動など、多くの社会貢献活動をしている。</p>	<p>上記の団体は、平成20年7月に開催された「第57回東海地区国立大学体育大会」において、優勝した。この高成績は、本学開校以来初の快挙である。</p>	<p>上記の団体は、平成20年9月に行われた、第2回BRASILIANA'S CUP VOLLEYBALL大会において準優勝した。同団体は東海大学リーグ4部に所属しているが、同大会は東海大学リーグ3部相当であるが、予選リーグを勝ち上がり、決勝トーナメントで決勝戦まで勝ち進み、準優勝した。</p>	<p>上記の団体は、平成20年6月に開催された「NHK大学ロボコン」に出場・優勝し、日本代表となった。平成20年8月にインド・プネ市で開催された「ABUアジア太平洋ロボットコンテスト」に出場し、3位入賞し、特別賞も受賞した。</p>
備 考	<p>「第6回全日本学生フォーミュラ大会 - ものづくり・デザインコンペティション - 」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 平成20年9月10日-13日 ・会場 コッポラ(小笠山総合運動公園) ・主催 (社)自動車技術会 ・後援 文部科学省、経済産業省、国土交通省 他 ・総合 10位 ・出場 77チーム 	<p>(財)学生サポートセンター主催 「平成20年度学生ボランティア団体助成事業」採択・表彰</p>	<p>「第57回東海地区国立大学体育大会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 平成20年7月12日-13日 ・会場 東山公園テニスコート ・出場 8校 	<p>「第2回BRASILIANA'S CUP VOLLEYBALL大会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 平成20年9月1日 ・出場 12チーム 	<p>「NHK大学ロボコン2008 ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 平成20年6月8日 ・会場 柳井ツカサ記念青少年センター ・主催 NHK, NHKインタープライズ ・後援 文部科学省, 日本機械学会, 日本ロボット学会 ・出場 21チーム

区 分	個 人				
被表彰者	春名 将資 (生産システム工学課程4年次)	武道部・剣道部 荒川 幸弘 (機能材料工学専攻3年次)			
表彰理由	上記の者は、毎年遺児支援のボランティア活動を行っており、特に平成20年4月から平成21年3月上旬までの1年間、アフリカ・ウガンダ共和国でイスラエル遺児約200万人のためのイスラエル遺児家庭訪問調査や「あしながウガンダレポート」での心のケア活動を行うなど、世界の遺児支援活動に多大な貢献をしている。	上記の者は、研究、課外活動団体（武道部および剣道部）における全ての活動において、非常に優れた実績を残し、文武両道に研鑽を積む学生として、他の学生の模範である。			
備 考	「世界の遺児支援活動」に従事することが、NHKのニュース及び中日新聞・神戸新聞で紹介され評価を得た。また、本学のHPにも現地の活動レポートが掲載された。	個人成績は武道部関係で、平成15年度から18年度までのもので、18年度は準優勝であった。剣道部関係では平成14年度から19年度までで3位入賞であった。今回の推薦では課外活動等の顕著な成績とともに武道部・剣道部の副監督や監督を務めたことを推薦理由として掲げられている。指導教員からの研究面については今回の表彰には該当しない。			